

第8回「元気が出る森松展」

テーマ “MT革命”～情報は今、森松から世界へ～
(MT:モリマツ・テクノロジー)

日時 10月12日(木) 9:00～17:30
13日(金) 9:00～17:00
14日(土) 9:00～17:00(予約者のみ)

場所 森松株式会社 本社5Fホール

森松展実行委員: 安井 浩二・岩間 正美・吉岡 孝記

『出展企業』 30社

- | | | |
|------------|----------------|-------------|
| アキレス(株) | 杉産業電機(株) | 山本ビニター(株) |
| 出光ユニテック(株) | 積水成型工業(株) | 菱興プラスチック(株) |
| 大倉工業(株) | 龍田化学(株) | 三菱化学MKV(株) |
| オカモト(株) | 日本ウェーブブロック(株) | (株)生産日本社 |
| カンボウプラス(株) | 広島化成(株) | シーダム(株) |
| 小池理化学工業(株) | (株)プラスコーポレーション | (有)トラスト |
| 三協化成(株) | 丸喜化学工業(株) | (有)三友化成 |
| サンビック(株) | 明和グラビア(株) | 金子商店 |
| シーアイ化成(株) | 林一ニ(株) | コーハン |
| 三和化成(株) | イズミメンテサービス | 四川義信文化用品公司 |



森 信之

『9/11 水害見舞お礼』
 多くの方に、御見舞・激励を戴きまして
 ありがとうございます。
 9月20日現在、NCカッター1台、油圧
 プレス1台を除き、すべて復旧しましたの
 でご安心下さい。
 名古屋地区歴史的集中豪雨のあった当夜
 は、納期の急ぐ仕事が入っており、多くの
 社員25名程が残業中でした。18時30分頃よ
 り道路が川のごとく流れ、会社周辺に路上
 駐車場の通勤用車両が危いので移動を始め
 ました。同時に工場内床上の荷物をパレット上
 に、又2Fへ避難させた。私は17時45分頃
 会社を出て自宅へ向っていたが、商品・工場
 場の安全対策は横山さん、光田さんはじめ
 残留組全社員が一体となって会社の財産を
 守ってくれました。本社・要工場・上浜工
 場、3ヶ所の大変な労働だったと、今さら
 ながら安全を確保してくれた社員の皆さん
 に頭が下がります。
 洪水との戦いは深夜まで続き、結局、19
 名の社員が社内で一夜を過ごす事になりま
 した。自宅で心配しているご家族の方、
 浸水等で不安な夜を過ごされた方が多くいま
 したが、交通手段がストップした事が、会
 社にとりましては、多くの商品が助かり、
 納期を守り、対外的な信用を維持する事が
 出来た訳です。
 復旧作業が始まって、皆さんの応援、ア
 ドバイスに助けられ、予想外に早い再開が
 できました。特に杉産業電機さん、村松自
 働車さん、オギ工業さんに深く感謝申し上
 げます。皆さんありがとうございます。
 「危機管理」が再構築さ
 れた、そして、会社の弱
 点も見い出された事であ

“ <http://www.morimatsu.com/> ”

モーリンワールド

『水害』

この度の水害で皆様から沢山のお見舞いをいただきまして、厚く御礼申し上げます。

あの日(9/11) 18時40分頃、私は雨のひびきも気がつかずに仕事をしていました。その時、横山さんが3階事務所の外を見て「道路が川になってるよ!!」と、声をかけてくれたので急いで見に行くと、車がノロノロと水の中を走っていました。私はすぐに母の家に電話をしました。(会社から5分位の近い所なので同じ状況だろうとすぐに想像できたので)母は気がついていなかった。水は門から玄関の中頃まで押し寄せていた。

その少し前から会社の周りに駐車している車が水没しそうだからと言って、皆がバタバタ動いていたのは知っていましたが、私が急いで帰ろうと1階へ降りたら頭からずぶ濡れで裸足の3、4人が自分達の車を移動していた。とにかく川になった道路をなんとか走って私は母の家にとどろつきました。が、それから雨はますます激しく降り続き、会社にいた女性も含めた20人程が、とうとう帰宅することができず、会社に泊まることとなったのです。

本社、1階にも水は入りましたが、残った人達を守ってくれてなんとか被害を最小限に食い止められました。でも要工場までは手が届かずプレスやNCや商品に被害がでてしまいました。後片付けが大変でしたが、休日出勤などして一丸となった皆のパワーを見て、これがモーリングループの強さの秘密かなあーと改めて感じた大きな出来事でした。



母の家も床上浸水。こちらは女性パワーでなんとか片付けています。

森 ちか

喜怒哀楽

『只今子育て奮闘中』

今年2月に家族が増えて早7ヶ月、今ではハイハイも上手になり日に日に成長していく子供を見てみると、改めて成長の早さに感心するばかりです。ただ、私は昼間は会社で働いているので子供達と接することの出来るのは夜と休日だけ、だからこそ子供との時間を大切にしたい家には2人の子供の面倒をみるよう心がけています。

その事で普段子供達に振り回されている奥さんの負担を少しでも減らしてあげたい。そして子供の面倒の他にも私が協力していることがあります。それは弁当を自分で作ること、夜中に子供(今は下の子)に何度も起こされ朝方には疲れてぐっすり寝ている奥さんを起すのは可哀相、だから何とか自分のことは自分で、と作り始めて3年以上になります。初めの頃は時間がかかっていた弁当作りも今では慣れたもので短時間で作れるようになりました。興味心していただきます。(たまには奥さんが作ってくれることもあります)



私の奮闘はまだまだ続きます。そうですが頑張ります。

西脇 修

暮らしのエッセイ

『暮らしのエッセイ』

ここところの自然災害には少々恐い気がします。有珠山の噴火や三宅島雄山の噴火に地震など信じられないことが続いています。

つい先日この地方で極地的に大雨が降り身近では要工場が大打撃をうけてしまいました。テレビで小学校などへ避難している人を見ることも多くつい私も昔のことを思い出しました。

戦争で家を壊されてしまい電気もなくトイレもかこいもないところで当時家族は8人でしたが1人もケガ人もなく今の私がいまいます。

私の近況は大興さんの配達以外にも暇をみて2Fのウエルダーを徐々に覚えていくつもりです。みなさんよろしくご指導ねがいます。



津田 亘



読書感想文

「こんな時代に伸びる店消える店」を読んで
西村 晃 著

モノが売れないのは「不景気」のせいだ。と言う人は多い。誰しもそれだけのせいではないことは分かっている。でも、「不景気」だからモノが売れないとすれば、売る側には非がないように聞こえる。要するに「不景気」のせいにして、責任の転換をしているだけなのである。

しかし、こんな時代でも売れている店はいくらかもある。モノが売れるか売れないかは売る側の努力次第である。すべてが売れなければ「不景気」のせいかもしれないが、そうではないのが事実である。この本にはそんな売っている人たちが紹介されている。

売れない時代にいかにして売るか。黙っていても売れていればそれに越してことはないのであるが、そうはいかないのがこの時代。消費者のニーズにいかにして応えていくのが問題でモノがあふれているこの世の中にどうやって買わせるか、そのための宣伝・広告・サービスなど企業努力が求められている。

自分自身が変わっていくように、流行も売れるものもすごいスピードで変わっていく。それに対応していかなければいけません。

こんな時代だからこそ、買う側の目も厳しくなっている。だめなものもとより、たとえ自信作であっても売れないのだ。企業も新しいよいモノを提案しつづけなければならぬ。

売り手側が買う側のニーズにいち早く気づき顕在化させて、「この商品は便利ですよ、役に立ちますよ。」と訴えなければいけないと感じた。

中村真由美

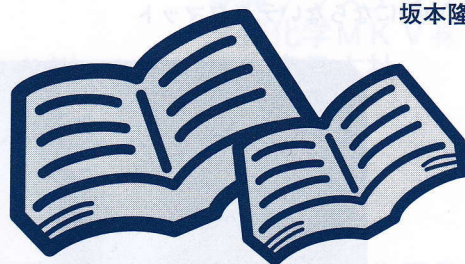
「[仕事のプロ]といわれる人はここが違う」を読んで
中川昌彦 著

仕事のプロになる必要性に始まり、段階に応じたプロである為もしくはプロになる為の方法、心構えをわかりやすく書いてあったこの本を読んで先ず感じたことは、(この手の本を読むと必ず感じる事でもあるのですが、) 森松の教育(共育)、特に「モーリン語録」の中にその内容が凝縮されているな、という事です。

「5S(4S)」「PDCA」「段取り」「健康」「優先順位」等の必要性をいろいろな事例をあげて説明してありました。一方で今まであまり意識しなかった「数字力」「ネゴシエーション(交渉)」「DTM(デスクトップミュージック…ではなくダイナミックタイムマネジメント)」について学習することができました。「オリジナリティー」の育て方などは共感を持つことができましたが、逆に言えば他の事はできていないという事になるのかも知れません。身につまされることが多くありました。最後の二章が「愛」をテーマにして終わっているのは、(考えが甘いかもしれませんが、)非常に暖かみを感じました。

到達点のない「プロ」という世界をめざすためには、とにかくがんばるしかないと思いました。

坂本隆志



上海的生活

台風の影響がまだ残っていると思いますが、被害にあった皆様方の一日も早い復興を願います。皆さん本当にお疲れ様です。

先日上海の南方約200^{キロ}の都市、寧波に行って来ました。人口は500万以上、現在はプラスチックを初めとした沿岸工業地帯の一つですが、歴史的にも古くから栄えていた古都であります。徐福や鑑真が日本に向けて出港したのも寧波の港からでした。

寧波ではおもにプラスチック市場を見ることができましたが、ここでは中国のプラスチックという素材に対する認識を知ることができました。まず、飲料のボトルを粉砕してそれだけでごみ袋を作ったりするのは当たり前で、不用になった玩具や、車の部品から家電、といったおたおたプラスチックと名のつくものはいすべて回収、再生という仕組みができています。これは別に中国は寧波に限ったことではないですが、今回その大まかな流れを実際に見る事ができました。

はじめは理め立て処理でもされていると思った「ゴミ」がこちらでははしつかりと一つの環ができています。無駄がありません。

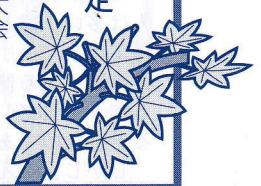
日本でこれらのことを実現させることは無理ですが、もし今後分別回収の方法によつてはプラスチックの長所が再度評価されるのではと思つた寧波出張でした。



森 直樹

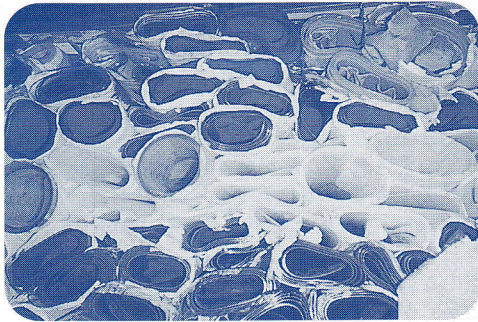
2000年

10月の予定

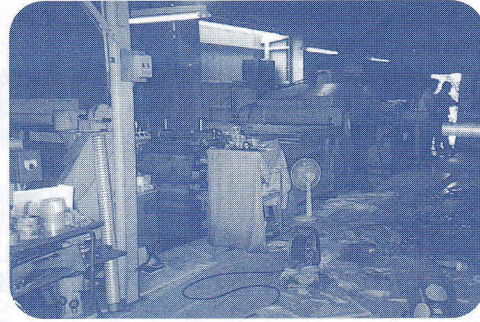


- 2日(月) 社内野球大会
(坪井監督引退試合)
- 6日(金) 愛大セミナー 14時30分
- 7日(土) 第一土曜日休み
- 9日(月) 体育の日
- 10日(火) 呉さん倪さん来日予定
- 11日(水) 中京21倶楽部11時30分
誕生会12時00分~13時30分
- 12日(木) 森松展 9時00分~17時30分
- 13日(金) 森松展 9時00分~17時00分
- 14日(土) 森松展 9時00分~17時00分
(予約者のみ)
- 17日(火) 改善会議 18時00分~
- 18日(水) 滋賀環境メッセ(20日まで)
- 19日(木) 中山さん誕生日
- 20日(金) 法人会サン笠寺
12時30分集合
- 23日(月) 経営会議 7時30分~
営業会議 15時10分~
竹内さん誕生日
- 24日(火) 加藤さん誕生日
- 26日(木) オカモトゴルフ会(川奈CC)
- 27日(金) 中高レ青年部関西出張
- 28日(土) 第四土曜日休み
- 30日(月) 生産会議 18時00分~

写真に見る東海豪雨 9・11



使い物にならないデスクマット



要工場 プレス付近



水にぬれた原反



工場から出たゴミの山

編集後記

去る9月11日に突然東海地方を襲った豪雨で私は生れて初めての経験をしました。降りしきる雨で約20人の社員が帰宅する事が出来ずそのまま朝を迎える事になりました。その中に私もいたのですが、気付くと皆で、2階に上げられる物は2階にあげ、低い所にある荷物は、高い所に乗せ、水を妨げる物を作ったり、気付くと皆が一丸になって動いていました。中には人に助けを求められ止まってしまった車を一緒に動かしている人や、流されていくプロパンを泳いで取りに行く人もいました。私は「家のことも心配なのに今この状況をどうするかをすぐ判断して動いているなんて凄い!!」と思いました。皆が必死になれば凄いい力になるんだという貴重な経験をしました。

今回たくさんの方々水害に遭われたと思いますが心よりお見舞いを申し上げます。



服部 知恵